

岡本太郎と中村正義「東京展」

太郎 × 正義

日本の美術界に挑む!

2015
8/8 土--9/27 日

開館時間…午前9時～午後5時

休館日…月曜日 *ただし、9/21(祝)は開館し、24(木)休館

観覧料…一般・大学生 1000(800)円／小・中・高生 400(300)円

*()内は前売または20人以上の団体料金。前売券は豊橋市美術博物館、豊橋市二川宿本陣資料館、豊橋市役所じょうほうひろば、チケットぴあ、サークルKサンクス、セブンイレブンで8/7(金)まで販売。(Pコード: 766-958)

*「豊橋市敬老バッジ・シルバー優待カード」「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかをお持ちの方は観覧料が無料となります。

*「ほの国こどもパスポート」で東三河地域在住または在学の小・中学生は無料で観覧できます。

主催… 豊橋市美術博物館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協力… 中村正義の美術館、岡本太郎記念館、現代美術資料センター

協賛… ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

TOYOHASHI CITY MUSEUM OF ART & HISTORY

豊橋市美術博物館

*回転は次の作品を部分使用しています。岡本太郎「エクセホモ」「太陽の塔」「明日の神話」「若い太陽の塔」「午後の日」「手の椅子」「いすれも川崎市岡本太郎美術館蔵」
中村正義「女文部」「おそらくそれも豊橋市美術博物館蔵」「男女」名古屋市美術館蔵、「焚き」岡崎市美術館蔵、「源平激突絵巻 第三回『玉楼炎上』」東京国立近代美術館蔵
栗津深一「第一回東京展ポスター」の虹と薔薇



中村正義

源平海戦絵巻 第四図『修羅』1936

東京展

『傷ましき腕』1936/49

岡本太郎



川崎市岡本太郎美術館蔵

山下菊二

『チリ・〇〇〇』1975

神奈川県立近代美術館蔵



旧態依然とした日本の美術界に揺さぶりをかけるため、中村正義が構想し、文字通り自らの身命を賭して実現させた「東京展」——その目指すところは、全く新しい美術の共同体・組織の在り方でした。

1946年、日展に初入選し、二度にわたる特選を経て審査員に推挙された中村正義(1924-1977)は、閉塞的な日本画壇に疑問を持ち、将来を嘱望されながらも日展を脱退。以後それまでの画風を一転させ、日本画の伝統美に抗う激しく挑戦的な作風を展開しました。

正義よりも一回り年長の岡本太郎(1911-1996)は、1941年に10年余り滞在したパリから帰国して二科会を活動拠点とします。1948年には評論家の花田清輝らと総合芸術運動を目指む「夜の会」を結成し、日本の芸術界全体の変革を目指しました。ここから太郎はアヴァンギャルドの旗手として美術の領域すら逸脱する多面的な活動を展開します。

若い画家たちとともに二科会内部からの変革を模索していた太郎が会を退いたのは1961年——奇しくも正義が日展を脱退した年でした。以後、太郎は繩文土器や民俗学への探求をはじめ、モニュメンタルな壁画や立体造形など、ジャンルを越えた活動を行い、正義もまた多様な素材を用いた制作を行うほか、映画や舞台、写真研究など、さまざまな分野に関わりました。そうした多面性と反逆精神こそが両者に共通する要素であり、東京展の精神へと結実していったといえるでしょう。正義を核として集った多様なジャンルの作家たちからの声掛けに、大阪万博などすでに知名度の高かった太郎が快く応じ、その祝祭的空間により一層強烈なエネルギーを注ぎました。

本展は太郎と正義の代表作を展観するとともに、二人の接点である東京展の再現を通じ、彼らが求め、構想した「東京展」とは、何であったのか——、さまざまな角度からのアプローチを通して今一度検証したいと考えています。

東京国立近代美術館蔵
(展示期間は8月30日まで)

四谷シモン

『未来と過去のイヴ』1973
撮影・篠山紀信

写真提供・テラヤマワールド

寺山修司

『天井桟敷鉄』1975



TARO VS MASAYOSHI

イベント

- ①記念座談会「<東京展>とは何であったか」 9/6(日)午後2時～
出席者= 笹繁男(現代美術資料センター主宰)ほか第1回東京展出品作家
- ②ギャラリートーク 8/8(土)、9/5(土)午後2時～
講師=川崎市岡本太郎美術館学芸担当課長・仲野泰生×豊橋市美術博物館担当学芸員
- ③ワークショップ「“これからの自分”的顔をつくる」 8/12(水)午後1時30分～
講師=柴田英里(造形作家) 対象=小学生 参加費=500円
- ④ナイト・ミュージアム「探検！夜の美術館と平家の怪談」 8/14(金)午後6時30分～
話し手=林吉子(前芝おはなしの会)+ブラックバネルシアター 対象=小学4年生～中学生とその保護者 定員=40名
- ⑤琵琶演奏会「平家物語」の夕べ 8/15(土)午後6時30分～ 演奏=北川鶴昇
- ⑥中学生美術体験プログラム「夏休みアート・スクール」 8/18(火)～22(土)
講師=北村章(造形作家)、佐藤玲子(川崎市岡本太郎美術館学芸員)ほか 対象=中学生 参加費=500円
- ⑦映画上映会「中村正義・父をめぐる旅」 8/23(日)・9/13(日)午後2時～
- ⑧「絵とピアノが織りなす即興絵巻コンサート」 8/28(金)午後6時30分～
演奏者=はちまん正人(ドラマティック・ピアニスト) 定員=40名 共催=豊橋市美術博物館友の会
- ⑨ダンス・ワークショップ 9/20(日)午後2時～
講師=中嶋夏(舞踏家) 対象=5才以上の知的障がいの方(自分で立てる方)、付添いの方、健常の方

*③④⑤⑥⑧要申込、②④⑤⑥⑧観覧料必要、①⑦⑨参加無料
※申込受付=⑥受付中、③④⑥⑦/17、⑧⑦/22、⑨⑦/24より
※その他、詳細はホームページをご覧ください。



[交通案内]

JR・名鉄「豊橋」駅前より路面電車(市電)乗車
「豊橋公演前」下車、徒歩3分